

日本オリエント学会第 61 回大会プログラム
2019 年 10 月 12 日 (土)・13 日 (日)
会場：明治大学駿河台キャンパス

第 1 日 10 月 12 日 (土) 14 : 00～20 : 00

公開講演会・学会奨励賞授賞式

会場：リバティタワー1階 1011 教室

13 : 30 開場

14 : 00～14 : 10 開会挨拶

14 : 10～17 : 00 第 324 回公開講演会「知の集積と伝達：イスラーム文化の一側面」

第 1 講演 後藤裕加子 (関西学院大学文学部教授)

「ペルシア語文化圏の写本制作と宮廷図書館：サファヴィー朝を中心に」

第 2 講演 永田雄三 (公益財団法人東洋文庫研究員、元明治大学文学部教授)

「オスマン帝国近世のアナトリアにおける地方名士の写本収集と図書館の建設—地域社会振興の一環として」

コメント：近藤信彰 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)

17 : 00～17 : 40 第 41 回オリエント学会奨励賞授賞式

18 : 00～20 : 00 懇親会 (会場：リバティタワー23階 宮城浩蔵・岸本辰雄ホール)

第 2 日 10 月 13 日 (日) 9 : 30～16 : 35

* 研究発表会 (それぞれの発表は 20 分、質疑応答は 5 分でお願いいたします)

* 会場：リバティタワー 6 階 1065、7 階 1073、1074、8 階 1083、1085、9 階 1096

16 階 1163 (ポスター発表 コアタイム [12 : 50～13 : 20])

第 1 部会 (6 階 1065 教室)

	時間	発表者	タイトル
1	10:00～10:25	竹野内恵太	儀礼的景観の創出とエジプト初期王権の再生産
2	10:30～10:55	南澤武蔵	古王国時代の墓に関する双生児研究からの検討—ニアンククヌムとクヌムホテプの事例
3	11:05～11:30	石崎野々花	古代エジプト新王国時代における樹木の分類と名称について—東地中海地域からの輸入材を中心に
4	11:35～12:00	肥後時尚	古代エジプトの『二柱のマアト』の起源について
昼食休憩			
P	12:50～13:20	ポスター発表コアタイム	
5	13:30～13:55	山崎世理愛	オブジェクト・フリーズにみるエジプト中王国時代の葬送儀礼と実際の儀礼行為
6	14:00～14:25	矢澤健	称号から見たダハシュール北遺跡の被葬者の社会階層に関

			する一考察
7	14:35~15:00	河合望	第4次・第5次(2019年)北サッカラ発掘調査概報(仮)
8	15:05~15:30	田澤恵子	古代エジプトにおけるマアトの実践—宗教と社会福祉の相互関係をめぐる視点から
9	15:35~16:00	米山由夏	古代エジプト、サッカラ地域の墓地利用に関する一考察—末期王朝時代からプトレマイオス朝時代にかけて

第2部会(7階1073教室)

	時間	発表者	タイトル
1	9:30~9:55	西秋良宏	西アジア旧石器時代にみられる石刃生産の長期的な変化について
2	10:00~10:25	渡辺和子	メソポタミアの奉納物と奉納文
3	10:30~10:55	細田あや子	メソポタミアの儀礼における媒介者・媒介物
4	11:05~11:30	小泉龍人・小島均・曾我部雄二	メソポタミア都市形成期の彩文—復元顔料の焼成実験
5	11:35~12:00	渡辺千香子	アッシュルバニパル王ライオン狩り浮彫りに描かれた異なる狩猟に関する考察

昼食休憩

P	12:50~13:20	ポスター発表コアタイム	
6	13:30~13:55	青島忠一朗	アッシュルバニパルの王碑文における発話の役割
7	14:00~14:25	山田雅道	エマルにおける「世話」契約—4者システム再論
8	14:35~16:35	企画セッション(14:35~16:35) アッシリアの属国と属州—テル・タバんとヤシン・テペの成果から 沼本宏俊「テル・タバン出土、中・新アッシリアの遺構と土器変遷」 柴田大輔・山田重郎「テル・タバン出土アッシュル・ケタ・レシエル2世の記念碑文とその歴史的背景」 西山伸一「考古学から見たヤシン・テペ—新アッシリア時代の拠点都市と属州支配」	

第3部会(7階1074教室)

	時間	発表者	タイトル
1	10:00~10:25	高橋寿光	古代エジプト、青色彩文土器の出土場所について
2	10:30~10:55	和田浩一郎	編み髪の埋納?—アコリス遺跡の出土資料を考える
3	11:05~11:30	山口雄治・紺谷亮一・上杉章紀・下釜和也・千本真	中央アナトリアにおける前期青銅器時代土器の変遷とその年代—キュルテペ遺跡出土資料を中心に

		生・Fikri Kulakoğlu	
4	11:35~12:00	山本孟	ヒッタイト王の神々に対する敬意の表し方
昼食休憩			
P	12:50~13:20	ポスター発表コアタイム	
5	13:30~13:55	土居通正	前12世紀初頭のキプロス島の土器の新たな展開
6	14:00~14:25	長谷川奏・徳永里砂・西本真一・恵多谷雅弘	サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の立地条件と構造—初期イスラーム時代の港まちの分布調査から
7	14:35~15:00	安倍雅史・上杉彰紀・西藤清秀・後藤健	バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト第5次調査の報告
8	15:05~15:30	藤澤綾乃	ローマ・ビザンツ時代パレスチナにおける教会堂建築の変遷—ユダヤ・サマリア地域を中心に
9	15:35~16:00	津村眞輝子	北シリアのビザンツ時代の墓の副葬品—ガラス玉に焦点をあてて

第4部会 (8階 1083教室)

	時間	発表者	タイトル
1	9:30~9:55	下山繁昭	高句麗からもたらされた三本足のカラスの紋章の源流と文化の伝播
2	10:00~10:25	田辺理	ガンダーラの仏教彫刻におけるディオニューソス神画像の受容の特徴
3	10:30~10:55	青木健	エーラーン帝国の宗教—マズダー教、ズルヴァーン主義、ゾロアスター教
4	11:05~11:30	新井雅貴	ヘブライ語聖書における「埋葬地」としての水溜めの性質
5	11:35~12:00	関広尚世	スーダン国立博物館所蔵鉄製品の考古学的・文化財学的意義について
昼食休憩			
P	12:50~13:20	ポスター発表コアタイム	
6	13:30~13:55	原将吾	シリア語 Differential Object Marking の地域差について
7	14:00~14:25	内記理	カローシュティー文字の形態変化に関わる考古学的検討—西北インド出土の碑銘資料を中心に
8	14:35~16:35	企画セッション 古代ギリシア・ローマ世界における身振り画像とその形成、変遷、差異のメカニズム—「両手を上げる」身振りを中心に 田中咲子「エーゲ時代からヘレニズム時代における『両手を上げる』身振りの編	

		年と意味—哀悼と嘆願を中心に」 小堀馨子「ローマ帝政初期における哀悼の身振りと帝室女性」 坂田道生「《ユリウス・テレンティウスの Fresco》に関する一考察—身振り表現、凶像伝統、神殿と軍隊との関係から」 コメンテーター及び司会：長田年弘
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第5部会（8階 1085 教室）

	時間	発表者	タイトル
1	9:30~9:55	徳永里砂	初期イスラーム時代ヒジャーズ地方のグラフィティにみられる文面の変遷
2	10:00~10:25	榮谷温子	古典アラビア語文法における「主語」
3	10:30~10:55	五十嵐小優粒	自他動詞と形容詞から考えるペルシア語受身の存在の必然性
4	11:05~11:30	村上武則	最古のクルド語文法書『ガルゾーニ文法』の研究
5	11:35~12:00	江原聡子	ハランのサービア教について—『目録の書』と『古代諸民族年代記』を中心に

昼食休憩

P	12:50~13:20	ポスター発表コアタイム	
6	13:30~13:55	平野貴大	初期のイマーム派における輪廻思想—人間から動物への変態 (maskh) と靈魂の永遠性
7	14:00~14:25	井上貴恵	「陶醉」系スーフィーとその倫理性 (仮)
8	14:35~15:00	法貴遊	イブン・スィーナで繋がる脳と経験と文法学
9	15:05~15:30	矢口直英	イスラームにおける医学の定義の伝統—『医学典範』後の展開
10	15:35~16:00	相樂悠太	イブン・アラビーの神秘主義的靈魂論の研究—「魂」(nafs)・「心」(qalb)・「靈」(rūh) をめぐって

第6部会（9階 1096 教室）

	時間	発表者	タイトル
1	10:00~10:25	野口舞子	12世紀のマグリブ・アンダルスにおけるフトバ
2	10:30~10:55	大塚修	ティムール朝歴史編纂事業再考—『ジャアファリーの歴史』を中心に
3	11:05~11:30	真殿琴子	「デヴリーイェ」理論に関する考察—ニヤーズイー・ムスリーの論考を中心に
4	11:35~12:00	KHASHAN AMMAR	ハナフィー法学派とシャーフィイー法学派におけるワクフ（寄進財産）の基本概念をめぐって—イスラーム経済学か

			ら見た考察
昼食休憩			
P	12:50~13:20	ポスター発表コアタイム	
5	13:30~13:55	岩田和馬	18世紀オスマン朝イスタンブルにおける同業組合と宿所(仮)
6	14:00~14:25	成地草太	1860年代前半のオスマン帝国における移民町形成と地元社会—テクフルダー県サライ郡で新設されたクリム・タタールの町の事例から
7	14:35~15:00	矢本彩	20世紀初頭オスマン帝国における「3月31日事件」と宗教学生的事件参加
8	15:05~15:30	福永浩一	近代エジプトにおけるイスラーム主義とキリスト教宣教団体—反宣教運動の言説に関する一考察

ポスター発表 (16階 1163教室 コアタイム: 12:50~13:20)

	発表者	タイトル
1	柏木裕之・山田綾乃	クフ王第2の船・銅製部品が装着された板状部材の機能同定
2	矢澤健・吉村作治・柏木裕之・山崎世理愛	ダハシュール北遺跡シャフト158の出土遺物と利用歴
3	河合望・松島朝秀・栗本康司・大山幹成・大石岳史・影澤政孝・Gilan Mahmoud Gamal・Ahmed AbdRabou Ibrahim・Hanan Mostafa AbdEl-Aziz・Mohamed Moustafa Mohamed・Ahmed Tarek AbdEl-Aziz・Soraya Muhammed・Hussein Kamal	ツタンカーメン王墓出土の「第2の国王のチャリオット」の復元について
4	高橋寿光	エジプト、ダハシュール北遺跡の青色彩文土器
5	関広尚世	スーダン国立博物館所蔵鉄製品の形式学的検討

主催 日本オリエント学会

開催 第61回大会実行委員会

江川ひかり (文学部)、横田貴之 (情報コミュニケーション学部)、瀧口美香 (商学部)

平野 豊 (文学部)、吉田達矢 (名古屋学院大学)、奥美穂子 (文学部)



〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 (TEL 03-3296-4545)

【リバティタワー】

- 1F 1011教室 (公開講演会・学会奨励賞授賞式会場)
- 6F 1065教室 第1部会
- 7F 1073教室 第2部会 1074教室 第3部会
- 8F 1083教室 第4部会 1085教室 第5部会
- 9F 1096教室 第6部会
- 16F 1163教室 (ポスター発表)

*コアタイム (12:50~13:20) 以外は休憩室としてご利用いただけます。

- 17F 学生食堂 *土曜のみ
- 23F 宮城浩蔵・岸本辰雄ホール (懇親会会場)

【休憩施設・売店など】

- ・ラウンジ・マロニエ (リバティタワー1F 地図上A)
- ・カフェ・パンセ (アカデミーコモン1F 地図上B) *土曜のみ
- ・明大マート (大学会館地下 地図上C) *土曜のみ
- ・サンマルクカフェ (グローバルフロント隣接)